

目次

はしがき——『NIDSパースペクティブ2』の刊行にあたって——	i
序章 核時代の新たな地平とは	1
一政 祐行	
1. 「核の復権」と高まる核抑止への期待と懸念	3
2. 「3大核大国」	5
3. 核の拡散と近代化	6
4. 軍備管理の終焉？	9
5. 本書の構成について	11
第1章 戦略的安定の理論的再検討	19
——核未満のレベルとの相互作用を中心に——	
栗田 真広	
はじめに	20
1. 冷戦期における議論	24
2. 今日の文脈における議論—核未満のレベルへの影響	32
3. 今日の文脈における議論—核レベルへの影響	38
4. 安定—不安定のパラドックスに係る試論	45
おわりに	49
コラム①：核戦略の論理をめぐる二潮流	60
本山 功	
はじめに	60
1. 核抑止論と対価値打撃	61
2. 核優勢論と対兵力打撃	63
3. 2022NPRにみられる2つの潮流	68
第2章 強要と核兵器	75
——能動的核威嚇の成功条件の考察——	
大西 健	
はじめに	76
1. 強要の概念と先行研究	77

	2. 分析枠組み	82
	3. 事例	91
	おわりに	123
コラム②：評判による抑止と強要		141
	前田 祐司	
	はじめに	141
	1. 評判の定義と意義	141
	2. 評判研究の変遷	142
	3. 評判研究の課題と展望	146
第3章 新領域と核兵器システム		153
	——核抑止・軍備管理への意味合い——	
	有江 浩一	
	はじめに	154
	1. 新領域と核兵器システムの関わり	155
	2. 新領域が核抑止を安定化させる可能性	162
	3. 新領域が核抑止の不安定化を招く恐れ	166
	4. 今後の課題と展望	175
	おわりに	188
第4章 核兵器政策と核軍備管理		201
	——大國間競争下での合理的軍備管理措置——	
	一政 祐行	
	はじめに	202
	1. 核兵器政策の現在	202
	2. 「軍備管理『条約』の終焉」と戦略的安定への新たな模索	224
	おわりに	238
	コーヒーブレイク	255
コラム③：非核兵器国の核レバレッジとイラン		257
	吉田 智聡	
	はじめに	257
	1. 非核兵器国の核レバレッジ	258
	2. イランの核開発疑惑	258
	3. イランの核保有への制約	261

おわりに 263

終章 「第二の核時代」の将来に向けて	269
	一政 祐行

索引 278

編著者・執筆者紹介 287